

レジメン名

SMILE

出典 J Clin Oncol 29:4410-4416

実施部署区分

入院 外来 処置

対象疾患

鼻型NK/T細胞リンパ腫

進行・再発  
補助療法(術前・術後)

投与減量の基準

その他			

1クール期間 28日

総クール数 2クール

(次のクールまでの標準期間)

投与中止の基準

WBC	2000/mm <sup>2</sup> 未満	PLT	※5万/mm <sup>2</sup> 未満
AST,ALT	200IU/L以上	T-bil	2.0mg/dL以上
Gr	1.5mg/dL以上		
その他	※出典は10万/mm <sup>3</sup> 未満だが、医師と協議し上記の値に変更		

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
メトトレキサート(メソトレキサート)	2000mg/m <sup>2</sup>	輸液500mL	6時間	d1
ロイコポリン	15mg/回を1日4回	輸液100mL	15-30分	メトトレキサート開始30時間後から0.1μM以下になるまで6時間毎
イホスファミド(イホマイド)	1500mg/m <sup>2</sup>	NS500mL	3時間	d2, 3, 4
メスナ(ウロミテキサン)	300mg/m <sup>2</sup> /回を1日3回	輸液100mL	15-30分	d2, 3, 4
デキサメサゾン	33mg/body		15-30分	d2, 3, 4
エトポシド	100mg/m <sup>2</sup>	輸液500mL	3時間	d2, 3, 4
L-アスパラギナーゼ(ロイナーゼ) <sup>※</sup>	6000KU/m <sup>2</sup>	AQ5mLで溶解NS250mLに希釈	2時間	d8, 10, 12, 14, 16, 18, 20
<p>※ロイナーゼ投与時にショックがあらわれるおそれがあるので、皮内反応試験をロイナーゼ投与に先立って実施する。実施方法は以下の通り。                      ロイナーゼ5000K.U.を日局注射用水2mLで溶解後、日局生理食塩液にて全量5mLとする。このうち0.1mLを注射筒で分取し、日局生理食塩液で全量1mLとした後、この0.1mLを皮内注射する(投与量:10K.U.)。皮内注射後15~30分間異常がないことを確認する。</p>				

1日投与順 (経時的にプレ Medikation・ポスト Medikation、 溶解液まで含む)
day1 ①グラニセロン3mgハッグ(15-30min) ②メトトレキサート2000mg/m <sup>2</sup> +輸液500mL(6hr) ③生食50mL(フラッシュ用)
d2, 3, 4 ①グラニセロン3mgハッグ+デキサート33mg(15-30min) ②エトポシド100mg/m <sup>2</sup> +輸液500mL(3hr) DEHPフリーの点滴セットを用いて投与 ③イホマイド1500mg/m <sup>2</sup> +生食500mL(3hr) ④(側管)ウロミテキサン300mg/m <sup>2</sup> (イホマイド投与時、4時間後、8時間後の3回、15-30分で点滴) ⑤生食50mL(フラッシュ用)
day8, 10, 12, 14, 16, 18, 20 ①生食50mL(ルート確保用) ②ロイナーゼ6000KU/m <sup>2</sup> +注射用水5mL+生食250mL(2hr) ③生食50mL(フラッシュ用)